

公益社団法人日本セラミックス協会
2025 年度事業計画

2025 年 4 月 1 日より
2026 年 3 月 31 日まで

2025 年度は、引き続き、2023 年に策定した「2023～2025 年度中期経営計画」に基づき、戦略的課題である「社会への価値提供」、「協会活動の活性化」、「協会の組織力強化」の目標達成に向けた活動を進めていきます。

「社会への価値提供」としては、産官学連携活動、国際交流事業、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）活動の推進に注力し、教育啓発活動の強化にも努めます。産官学連携活動では、支部や部会の課題でもある産からの参画を増やす試みを進め、連携活動を活性化していきます。また、環境課題解決に取り組むタスクフォースを立ち上げる予定です。国際交流活動では、2026 年 9 月 6 日～11 日に札幌で開催予定の国際セラミックス会議（ICC11）の準備活動を本格化し、広報にも力を入れます。また、本協会ならびにセラミックス分野の発展に顕著な業績を挙げた海外在住の方を本会として称える「日本セラミックス協会国際フェロー賞」の制度設計を 2024 年度に完了し、今年度はいよいよ受賞者を選考する段階となりました。更には、年会や秋季シンポジウム等における国際セッション開催を通して国際交流の活性化を図ります。ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）活動では、視野を一層広げた啓発活動を進め、教育啓発活動としては、2024 年度に作成した子供向けパンフレットや中高生向け YouTube 動画を活用して、セラミックスに興味を持ってもらう活動を進めます。さらに、我が国の技術、産業の発展や国民生活、文化等に対して貢献した、セラミックス分野における技術史的、文化的価値の高いものを協会として発信し、次世代に伝えることを目的とした「セラミックス遺産」認定制度を本年度より開始します。

「協会活動の活性化」としては、年会・秋季シンポジウムへの産業界からの参加者促進策として引き続き特別会員への無料参加枠を設定し、より一層の内容充実と魅力度向上に努めていきます。また、人数が少なく、運営の難しくなった支部については他の支部との統合を進め、新体制の下、全体としての活性度は向上するように進めていきます。更には支部、部会の課題について情報共有しながら、連携して課題解決に取り組み、協会活動をより広げていきます。

「協会の組織力強化」では、2023 年度よりスタートした新体制での活動を振り返りつつ、微修正を加えながら、より機能的、効率的な事業運営に努めていきます。特に若手産業交流会の活動を活発にし、若手の交流の場を確保したり、特別会員へのサービスを充実させ、会員の満足度向上を目指します。財務に関しては、公益法人財務 3 基準を満たすよう留意しながら、外部環境変化に適応させます。

定常的な事業活動として、本部主催では以下に示すような活動を行う予定で、支部・部会主催では別紙に示すような活動を行っていく予定です。

主な事業計画

行事 (公1)	・第38回秋季シンポジウム(2025年9月17日～19日 群馬大学(荒牧キャンパス)) ・2026年年会(2026年3月4日～6日 横浜国立大学(常盤台キャンパス))
出版 (公2)	・Journal of the Ceramic Society of Japan 毎月発行12回/年。特集号2回予定。 ・セラミックス誌 毎月発行合計12冊。 印刷部数毎号 冊子版2000部、Web版4000部、総頁1000頁。特集記事、その他連載
研修・ 講習会 (公3)	・セラミックス大学2025(オンライン開催)計7回講義
教育・啓発 セミナー (公4)	・高校課題研究フォーラム(2025年8月) ・高等学校生徒セラミック作品展(2026年1月～) ・教材用セラミックス関連サンプル(見本)の整備と貸出 ・理工系人材育成活動助成金公募の実施 ・ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン(DEI)企画「セラミックスカフェD&I講演会」(第38回秋季シンポジウム) ・ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン(DEI)企画「セラミックスカフェD&I座談会」(2026年3月年会)
標準化 (公5)	・協会規格「ファインセラミックス用炭化けい素微粉末の蛍光X線分析方法」作成 ・炭化けい素微粉末認証標準物質の酸素分析 ・標準化委員会化学分析小委員会創立55周年記念行事 ・JIS規格改正(JIS M 8852・JIS M 8853・JIS M 8856)
国際交流 (公6)	・国際セラミックス会議(ICC11)に向けての準備活動 ・年会および秋季シンポジウムでの国際セッション(年会はアメリカセラミックス学会との共催)の開催 ・Journal of Asian Ceramic Societies(JAScerS)(年間4回発行) ・European Ceramic Society(ECerS)サマースクール助成金制度の実施
広報 (公4・ 他2)	・協会ウェブコンテンツ拡充および協会活動PR(公4・他2) ・協会誌編集委員会との連携によるウェブコンテンツ「セラミックス博物館」、「日本のやきもの」のコンテンツ追加・更新(公4) ・Xでの、広報および啓発活動への利用推進(公4) ・教育委員会、出版員会と連携した中高生向けの啓発動画の制作・公開(公4)
表彰 (他1)	・第10回日本セラミックス大賞 ・第6回日本セラミックス協会功績大賞

	・第 80 回（2025 年度）功労賞、学術賞、進歩賞、技術賞、技術奨励賞 ・第 59 回（2025 年度）セラミックス貢献賞（表彰式 2025 年 10 月 10 日） ・第 20 回（2025 年度）協会活動有功賞 ・2024JCS-JAPAN 優秀論文賞・優秀総説賞 ・国際交流奨励賞（21 世紀記念個人冠賞（倉田元治賞、井関孝善賞、倉田元治学生賞）） ・第 50 回日本セラミックス協会学術写真賞 ・2026 年会優秀ポスター発表 ・第 11 回日本セラミックス協会フェロー表彰、第 1 回フェロー表彰（国際フェロー部門） ・2025 年度セラミックス遺産認定
--	--

<会議開催計画>

1) 理事会 5 回（5 月、6 月、7 月、11 月、2026 年 2 月）

2) 委員会（開催数）

顧問会	1	標準化委員会	2
戦略会議	2	化学分析小委員会	3
運営会議	4	教育委員会	3
支部長・部会長会議	5	セプロ小委員会	2
会員・サービス委員会	4	ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）推進委員会	3
行事戦略委員会	2	産学連携委員会	2
表彰委員会	3	役員候補者推薦委員会	1
セラミックス遺産認定制度検討小委員会	2	日本セラミックス大賞選考委員会	1
科学・技術委員会	2	日本セラミックス大賞候補者推薦委員会	1
国際交流委員会	2	功績大賞選考委員会	1
行事企画委員会	4	功績大賞候補者推薦委員会	1
年会小委員会	4	功労賞選考委員会	1
秋季シンポジウム小委員会	4	学術賞、進歩賞選考委員会	2
編成会議	1	技術賞、技術奨励賞選考委員会	2
学術写真賞選考委員会	1	セラミックス貢献賞選考委員会	1
論文誌編集委員会	12	国際交流奨励賞選考委員会	1
優秀論文賞選考委員会	1	協会活動有功賞選考委員会	1
協会誌編集委員会	10	フェロー表彰選考委員会	1
出版委員会	4	国際フェロー候補者推薦委員会	1
英文書籍企画 WG、啓発 WG、		アドバイザーボードミーティング	1
新刊出版 WG	各 4		
広報委員会	3		